

H.26 五 月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

思い通りにならないが、既に救われている私
お釈迦様は『法＝真理』に目覚め・悟られました。『法』
は3つの『自然』で説かれます。①無為自然＝『ありのま
ま』の意味で、私達は『ありのままの自分』を受け入れず
エエ格好します。②業道自然＝成るようになか成らな
い。『予定通り男（女）に生まれた』と言う人はいないの
に、思い通りにしたいと悩みます。③願力自然＝思い通
りにならないから、『全ての人を必ず救う』との仏様の
願い（本願）を信じ、生きる力を頂きたいと念佛します。
仏の教えを信じ・修行をし・覚るのが『自力の仏教』で、
猿の子が親猿にシツカリ捕まつて移動するようなもの
です。親鸞聖人の『他力の仏教』は、子猫が親猫に咥えら
れ・全身を親に任せて運ばれるようなものです。内臓が
働いている事が他力で、私達は雨水・日光・酸素を自然
界から頂き、無数の生き物を食べてきました。『少欲知
足（貪欲を少なくし満足を知る）の生活から、『自然の
恵みの御陰で、既に救われている私』だと気づきます。

主な参考資料

(1)川村妙慶(著)『ホッとひといき・川村妙慶のカフェ相談室』、法藏館、p.80(2013年)

(2)中村薫(著)『ひとくち法話・いま伝えたい言葉』、法藏館、p.11～12(2011年)

(3)米沢英雄(著)『自然法に・親鸞聖人円熟期の人間救済の思想』、光雲社、p.84～(昭和60年)